



穂 立

第9号

令和3年11月2日発行

<http://toyouura.shibata.ed.jp>

「思いやりの心」（東京ディズニーランドで働いている人の話）

校長 伊藤 真哉

今回は、東京ディズニーランドの生みの親である堀貞一郎氏が、生前、各地の講演で紹介していた「思いやり」に関するエピソードを紹介します。有名な話なので、知っている人がいるかもしれませんが、このエピソードから、あらためて「思いやり」について考えてほしいと思います。

ある日、東京ディズニーランドのレストランに若い夫婦が訪れ、「お子様ランチ」を注文しました。対応したアルバイトの店員は戸惑いました。この夫婦は、子供を連れていないのです。ディズニーのレストランには「お子様ランチは8歳まで」という規則があったので、店員は、「恐れ入りますが、大人の方には……」と言おうとしましたが、思いとどまって「失礼ですが、お子様ランチは、どなたが食べられるのですか？」と尋ねてみました。

すると、「実は…」と奥さんの方が話し始めました。「今日は、亡くなった私の娘の1歳の誕生日なんです。体が弱かったせいで、娘は最初の誕生日を迎えることができませんでした。大きくなったら、ディズニーランドへ行ってお子様ランチを食べようねって楽しみにしていたことを思い出して、つい注文したくなったのです。」

店員は話を聞き終えた後、「かしこまりました」と答え、その夫婦を二人掛けのテーブルから、四人掛けの広いテーブルに案内しました。さらに、「お子様はこちらに」と、夫婦の間に子供用のイスを用意しました。

やがてそのテーブルには、お子様ランチが3つ運ばれてきました。そしてその店員は笑顔でこう言いました。「ご家族で、ごゆっくりとお過ごし下さい」

この思いやりに感動した夫婦は、「お子様ランチを食べながら、涙が止まりませんでした。まるで、娘が生きているように、家族団らんを味わいました。」と帰宅してからお礼の手紙を書いたといいます。

(出典: 思いやりの心 木村耕一 編著)



相手を思いやるということは、こんなにも素晴らしく、ほんの少しの心づかいが相手に心地よさと安心感を与え、人を幸せにすることができるということをあらためて考えてほしいと思い、紹介しました。「心」は誰にも見えないけれど、「心づかい」は見えます。「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰にでも見えます。私たちも、「心づかい」や「思いやり」の輪を学級や学校全体に広げて、今以上に居心地がよく、温かい豊浦中学校にしていきたいですね。

1 年生「新発田班別自主研修」10 月 14 日（木）

10 月 14 日（木）に、1 年生が「しばたの心継承プロジェクト」の一貫として、午前中の日程で「新発田班別自主研修」を行いました。市役所を見学した後、班別に見学場所を訪問し、最後に新発田城を見学しました。新発田の歴史、自然、文化、産業等の体験学習を通して、ふるさと新発田への愛着と知識・理解をより深めてくれたことと思います。



私は、今回の班別研修で落谷虹児記念館を見学しました。落谷虹児がどんな人生を歩み、どんな作品を残したのかを知ったことで、落谷虹児という画家がいかにすごい人物で、世界に影響を与えたのかが分かりました。また、他にも内田正泰など、たくさんの偉人が新発田で生まれ育ったということを知り、もっと新発田が好きになりました。これからも新発田を大切にしていきたいです。

1 年 1 組 赤松 綸太郎

私は、新発田の魅力を一つでも多くみつけることを目標に研修に行ってきました。清水園や新発田城ではボランティアのガイドさんが案内してくださったり、説明してくださいました。ガイドさんからは歴史を語りついでほしいという熱意がとても伝わってきて新発田の魅力は昔からの建造物だけでなく、それを守る人々にもあると強く感じました。私も新発田の魅力を守り続けるために少しでも行動したいと思います。

1 年 2 組 金田 遙心

2 年生「職場体験」10 月 13 日（水）、14 日（木）

10月13日（水）、14日（木）の2日間、2年生が新発田市の「しばたの心継承プロジェクト」の一貫として、職場体験の校外学習を行いました。生徒たちは、職場の方々に親切に教えていただきながら、学校では体験できない多くのことを学ぶことができました。生徒たちにとって、“働く”ということと真剣に向き合えた2日間でした。そのような貴重な時間をくださった地域の事業所の皆様、本当にありがとうございました。



私は、職場体験で小柳産業という事業所にうかがいました。小柳産業はゴミの回収、運搬、分別をする会社です。一見汚いと思いがちですが全く汚くありません。ゴミの運搬、回収はパッカーという車に乗り、お店などから出たゴミを集めます。ゴミ自体がとても重く運ぶのが大変でした。分別はプラスチックの中でもポリスチレンの分別をしました。見分けるのが大変でした。とても大変でしたがいい体験ができたと思っています。

2年1組 木滑 俊介

職場体験を終えて学んだことは二つあります。一つ目は、仕事に向き合う姿です。どのようにして仕事と向き合っているかが、顕著にでるので、仕事に対していいかげんな気持ちを抱いてしまうと、仕事をしていても上手にできなかったり、いらいらします。二つ目は、ルールです。職場にはそれぞれルールがあります。そのルールをしっかり守り、職務をしっかりすることが一番大切だと思いました。

2年2組 片山 歩美

3年生「修学旅行」10月18日（月）

10月18日（月）に、3年生が日帰りで修学旅行に行ってきました。午前中は、マリニピア日本海に行きました。昼食は、テーブルマナー体験を兼ねて、ホテルでフルコース料理をいただきました。午後のサントピアワールドでは、生徒の笑顔が弾けていました。同行していただいた添乗員さんからは、豊中の3年生は、元気もマナーもとてもよかったと褒めていただきました。新型コロナウイルスの感染防止のために、泊を伴うことはできませんでしたが、思い出に残る楽しい修学旅行になったことと思います。



私は、修学旅行でたくさんの思い出をつくることができました。昼食にはテーブルマナーを経験し、将来に大切なことをたくさん学びながら、おいしく楽しい昼食になりました。サントピアワールドでは、友達とジェットコースターに乗り、怖かったのですがとてもいい思い出ができました。最高の友と最高の思い出をたくさんつくることで、一生の宝物となる修学旅行になりました。コロナ禍の中で、私たちによりよい修学旅行を考えてくれた先生方や保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

3年1組 貝瀬 俊太郎

私は、修学旅行で初めてテーブルマナーを学びました。新しく学んだことは、パンを丸かじりせず、ちぎって食べることと、パンは肉料理が来る前に食べ切ることです。今後、今回学んだことに気をつけながら食事をしたいです。他にも、マリニピアでは、ビーバーを見ました。とてもかわいかったです。サントピアワールドでは、友達とジェットコースターやツインドラゴンに乗りました。久しぶりだったので、とても楽しかったです。

3年2組 鈴木 愛

